

UI-TURN 誰もが活躍できる町

島根県川本町移住パンフレット

2024-2025



かわもと暮らし
川本



島根県川本町
SHIMANE KAWAMOTO-MACHI

ようこそ、かわもとまちへ



島根県のほぼ中央に位置する川本町は、中国地方随一の大河「江の川」の水運により、古くから「石見銀山（世界遺産）」の玄関口として栄え、交流の町として発展してきました。

訪れる人々の心の原風景を呼び起こす歴史や文化、地域資源が溢れるこの町での未来へのチャレンジを「かわもとワンチーム」で応援します。

川本町長 野坂一弥

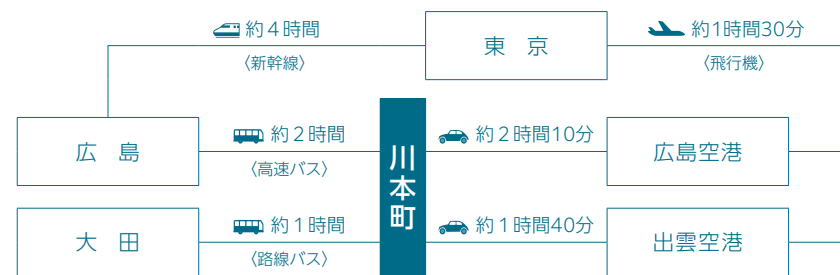
INDEX

川本町のこと	04	川本町での仕事	12
川本町での子育て	06	移住総合相談窓口	14
川本町の教育環境	08	先輩移住者紹介	15
川本町での住まい	10		





アクセス



お車でお越しの場合

広島市街から約1時間45分（浜田道「大朝IC」経由）
出雲市街から約1時間30分／浜田市街から約1時間30分

公共交通機関をご利用の場合

JR山陽本線「広島駅 新幹線口」より高速バス（石見銀山号）約2時間
JR山陰本線「大田市駅」より路線バス（石見交通）約1時間
JR山陰本線「江津駅」より路線バス（石見交通）約1時間

丁度いい暮らしが魅力のコンパクトタウン 川本町のこと

川本町は、豊かな自然環境に都市の利便性が機能する「コンパクトタウン」です。
交流の町として発展してきた歴史から、都会的な感覚、外部の人間を受け入れる寛容
さがあり、移住者にとっても「移住しやすい町」といわれています。

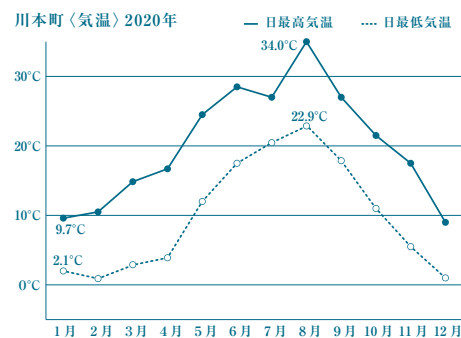
人口

人口	男	女	世帯数	15歳未満	65歳以上	高齢化率
3,034人	1,436人	1,598人	1,609世帯	279人	1,360人	44.8%

※令和6年1月現在

気候

川本町の気候は山陰地方特有の高温多湿型で
平均気温は約14℃、年間の降水量は約1,700
～2,000mmです。近年、全国的な問題となっ
ている水害等の治水対策にも力を入れています。
年間を通じて比較的温和な気候ですが、12月～
3月は最低気温が0℃を下回る日もあるため、
水道管の凍結等には注意が必要です。積雪は
年に数回（10～20cm程度）あるものの、日中
の平均気温が高いことから根雪になることはあ
りません。



交通事情

町内の交通手段にはバスのほかにタクシー
もありますが、車は大人1人に1台が必要とい
われるほどの必需品です。信号機が数えるほ
どしかなく、長距離の運転にもほとんどスト
レスを感じないため、片道1時間の道程も十
分に生活圏内です。冬季は路面の凍結に備
えてスタッドレスタイヤが必要で、四駆車
が推奨される居住地域もあります。



川本大橋（川本地区）





江の川の河川敷 (川本地区)



悠邑ふるくど会館 (川本地区)



石州瓦の町並み (因原地区)



商業施設 (因原地区)



円山からの雲海 (三原地区)



田園風景 (三原地区)



生活事情

「弓市商店街」のある川本地区には徒歩圏内に商店や飲食店、公共施設や医療・金融機関などが揃っており、生活に大変便利です。

因原地区にはスーパーや道の駅のほか、コンビニ、ドラッグストアやホームセンターなどの商業施設が集まっていて、農村部である三原地区から車で10分程度の位置にあります。

町内には意外なほど飲食店が多く、レトロな雰囲気を楽しめる呑み屋さんなどもあります。



弓市商店街 (川本地区)

インフラ

○：可 △：一部地域で不可

光回線	CATV	携帯 4 社	ガス	下水	救急医療機関
○	○	△	プロパン式	合併浄化槽	車で約20分

※下水は一部地域で集落排水となっています

豊かな自然との中で地域に大切にされる 川本町での子育て

土手を散歩したり、原っぱで昆虫を探したり、自然を身近に感じながらのびのびと遊び、学ぶことができるのが、川本町での子育ての一番の魅力です。季節を肌で感じながら人と触れ合い対話することは、情操教育としても良い影響を子どもたちに与えてくれます。

また、子ども一人ひとりが地域に大切に见守られていることも、川本町での子育ての大きな魅力です。新鮮な食材に恵まれ、安心して子育てができる環境。定住の理由に子育て環境の良さを挙げる移住者が多いことから、都会での生活との大きな違いといえます。



川遊び (矢谷川)

子どもの安全

川本町では地域全体で子どもを見守る文化があり、交通事故等のリスクが低く犯罪等もほとんどないため、子どもたちが安全に過ごすことができます。日常の中で地域の様々な人と多く関わることで、自然に社会性を身につけることもできます。

保育・医療の安心

川本町には3カ所の保育施設があり、いずれも待機児童はいません。町の中心部には歯科医院や総合病院があり、郡内には24時間体制の救急医療機関である「公立邑智病院（車で20分程度）」があります。乳幼児医療（小児科）に対応し、緊急時にはドクターヘリによる大学病院等への搬送が行われます。

全国トップレベルの子育て支援

川本町では所得制限なしの保育料無料や保育所での完全給食の実施（無料）、小学校・中学校の給食費全額無料、高校卒業までの子どもの医療費全額無料などの子育て支援に町を挙げて取り組んでいます。詳しくは、別冊「川本町Uターンパンフレット／移住後の支援制度一覧」をご覧ください。



子育てサポートセンター「あそびのひろば」（悠昌ふるさと会館）



三江線レールバイク(旧石見川本駅)



保育所「田植え体験」

川本・因原・川本北保育所

川本・因原・三原地区のそれぞれに規模の異なる保育施設があり、田植えや芋掘り、川遊びなどの自然環境を活かした様々な体験活動を取り入れた保育が行われています。

所得制限なしの保育料全額無料／完全給食による食育推進(全額無料)／土曜保育・障がい児保育に対応／一時保育の実施(川本保育所のみ)

病児保育室 コスモス

郡内の邑智病院に併設された病児保育施設「病児保育室 コスモス」では、専任の保育士と看護師が日中の病児保育を行っています。

保育料:1,000円／半日 2,000円／1日
(別途有料の食事サービスあり)



病児保育室 コスモス(公立邑智病院)

在宅児家庭支援 子育てサポートセンター

子育てサポートセンターでは、在宅児家庭の集いの場としてベビーマッサージや絵本の読み聞かせ、育児相談等のイベントを定期的の実施しています。移住したばかりの方も気軽に地域の方々と交流できる機会となっています。

K-POP かわもとぽかぽか親子プロジェクト

未就学児も対象に町教育委員会が実施しているK-POPでは、「タケノコ掘り」や「鮭の観察会」など毎回ユニークなイベントを企画しています。自然を通して親子のふれあいの時間を育むことを目的にした、移住者家族にも大好評の社会教育イベントです。



K-POP「タケノコ掘り」

出産・子育て支援制度一覧



少人数だからこそ魅力、小・中・高の連携教育 川本町の教育環境

川本小学校

生徒数は1学年20人前後です。仲間づくりを基盤とした個々の学力向上にむけた「学び合い学習」に力を入れています。通学は、徒歩、またはスクールバスによる集団登校です。

地域に学ぶ「ふるさと教育」の推進／学習支援員による学習サポートの充実／トップアスリートから学ぶ「夢先生授業」の実施／電子黒板・タブレット端末を生かしたICT教育／完全給食による食育推進（無料）／図書館司書の常駐／専任ALTの配置／全教室・体育館にエアコン設置／制服指定

放課後の子ども居場所 子育てサポートセンター

子育てサポートセンターでは、地域住民（サポーター）の協力により、小学生を対象とした放課後の子どもの居場所事業（児童クラブ）を開設しています。

平日放課後～18:00／長期休暇・学校休業日（8:00～18:00）

川本中学校

1学年20人前後の小規模校ですが、吹奏楽部や軟式野球部、バレー部などの部活動では多くの実績もあげています。通学は、徒歩、自転車、またはスクールバスを利用します。

職場体験などのキャリア教育の視点を持った教育活動／学習支援員を各学年に配置／トップアスリートから学ぶ「夢先生授業」の実施／電子黒板・タブレット端末を生かしたICT教育／完全給食による食育推進（無料）／図書館司書の常駐／専任ALTの配置／全教室・体育館にエアコン設置／制服指定

島根中央高等学校

県内の生徒に加え、しまね留学生として全国から多くの生徒が集まり、寮生活をしながら部活動や地域活動に取り組んでいます。町内に県立高校があることが町の大きな魅力のひとつとなっています。

全国約100校から集まる多様な生徒たち／個々の進路に対応した探究学習の推進／県内唯一の普通科コース制・総合選択制／カヌー部や男女硬式野球部、吹奏楽部などの実績豊富な部活動／学校と地域を結ぶ「Linkベース（教育創生コンソーシアム島根中央の拠点）」が生徒の地域活動をサポート／組み合わせ自由で人気の制服／県内初のユネスコスクール認定校／地域みらい留学365（高2留学）受け入れ校



川本小学校



川本中学校



島根中央高等学校



かわもとジュニアスポーツクラブ (川本中央スピリッツ)

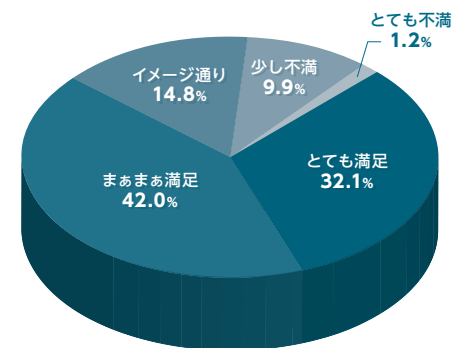


こども神楽 (川本神楽団)



あそラボ

川本町の教育環境に満足していますか？



※川本町移住者 (2010~2021年の転入者) 意識調査アンケート結果より抜粋

KSC かわもとジュニアスポーツクラブ

小学生を対象としたジュニアスポーツクラブでは、地域の指導者による様々なスポーツ教室があります。費用の安さに加え、体育館などのスペースや設備を贅沢に使えるのも魅力です。

軟式野球／剣道／フットサル／バレーボール／ミニバスケットボール

あそラボ

コミュニティカフェ「^{オレンジ}Orange」を拠点とした多世代交流ができる地域活動グループ「あそラボ」では、ボランティアの大学生や地域住民のサポートのもと、中・高生が中心となってカフェの運営やイベント出店、野菜の栽培・販売などの活動を行っています。また、小学生や未就学児も楽しめるイベントも定期的に開催しています。

子どもの習い事

英会話やピアノ、そろばん、書道、スイミングなどのほか、「石見神楽」や「江川太鼓」などの伝統芸能の団体に所属しているお子さんもいます。町内にも学習塾がありますが、オンライン学習塾等を利用する家庭もあり、町外を含め様々な選択肢があります。

子育て環境の最新情報



人生設計に合わせて選べる 川本町での住まい

川本町では、空き家バンク制度の活用や最大200万円の住宅助成金、定住促進住宅の整備などの取り組みによって都市部よりも戸建住宅等への入居がしやすいのが特徴です。近年、移住希望者にとっても住宅環境に対する意識は高く、理想の住まいを目的に移住を決断する方もいます。

川本町では一部地域を除き、下水道ではなく合併浄化槽を使用しているため、その維持・管理費が別途必要となります。また、ガスはプロパンガスとなりますが、近年はオール電化の住宅も増えています。



空き家バンク

空き家バンクは、空き家の売却・賃貸を希望する所有者からの空き家登録を受け、ホームページ等で物件情報を公開する制度です。川本町ではトラブル回避のため、専門家である宅地建物取引事業者（仲介事業者）が所有者への仲介・交渉を行っています。



※物件の賃貸・売買は宅地建物取引事業者を介した所有者と希望者の直接契約となります

かわもと暮らし『川本町空き家バンク』



定住促進住宅（三原地区）



リノベーション住宅（購入）

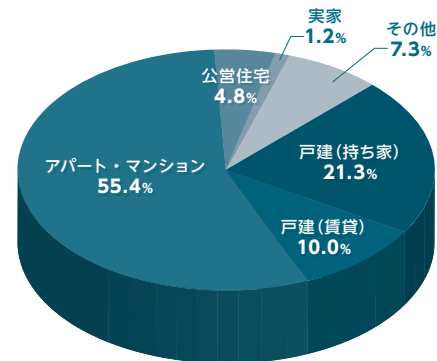


世帯向け町営住宅（因原地区）

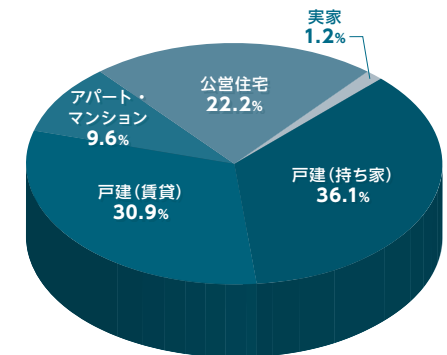


戸建住宅（賃貸）

移住前の住居は？



移住後の住居は？



※川本町移住者（2010～2021年の転入者）意識調査アンケート結果より抜粋

定住促進住宅

町が提供する新築戸建て（木造二階）専用駐車場付のオール電化住宅です。家賃は2.5～4万円／月＋子ども1人につき5千円が減額されます。（最長10年／3人まで）

※募集状況は年度により異なりますので最新の募集要項をご確認ください

町営住宅

町が管理する集合住宅です。世帯用・単身用とがあり、入居には所得条件等を満たす必要があります。ペット可の戸建住宅もあります。

※家賃は所得により変動します

民間アパート・賃貸住宅

町内には単身者向けのアパートが比較的多く、入居状況は随時変動します。家賃相場は1Kで4万円前後となっています。

新築・中古住宅購入助成金

新築または中古住宅を購入される場合に費用の一部（最大200万円）を助成する制度があります。



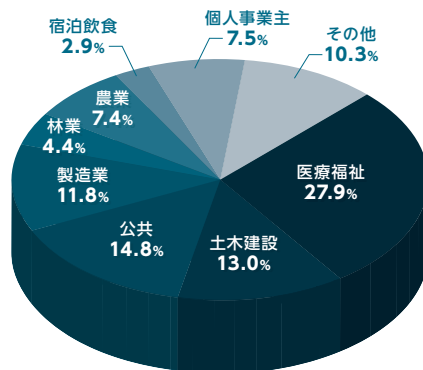
就職や起業を町をあげて支援

川本町での仕事

移住を検討する上で、仕事はとても大切な要素です。川本町へ移住した方へのアンケート結果からは、土木・建設、医療・福祉、製造業などへの就業が多いことが分かります。資格を必要とする職種もありますが、町内企業は移住者の採用に意欲的でIT関連など前職の経験・知識を活かし他業種で活躍している方も多くいます。

就職相談は、町内にある「ハローワーク川本」のほか、移住についての相談窓口である「一般社団法人 かわもと暮らし」で事業所の紹介等を行っています。

移住後の職種は？（無職・専業主婦を除く）



※川本町移住者（2010～2021年の転入者）意識調査アンケート結果より抜粋

就業支援

川本町では農業などの第一次産業の就業支援に力をいれており、多くの移住者が農・林業の分野でも活躍しています。また、地域おこし協力隊制度や開業支援制度を活用した町内での起業、マルチワークやリモートワークなどの新しい働き方を実践している方もいます。



図書館司書 かわもと図書館



えごま農家 農と里山 S-oil



看護師 社会医療法人 仁寿会



デザイナー RIVERBANKS



保育士 川本福祉会



製造員 (株) 三協 島根川本工場



測量士 (株) 新興建設コンサルタント



役場職員 川本町



事務員 (有) Willさんいん



事務員 (株) オーサン O-SAN FARM

地域おこし協力隊制度

川本町では雇用型と委託・起業型の2つの受け入れ体制を設け、隊員の活動支援補助金の支給等を明確に制度化しています。採用日は、原則4月1日と10月1日の年2回です。詳しくは、別冊「川本町Uターンパンフレット／川本町地域おこし協力隊」をご覧ください。



かわもと暮らし『地域おこし協力隊』

就農支援



島根県には65歳までを対象とした就農支援制度があり、専業農家や半農半Xなど目指す就農スタイルに合わせた様々な支援を行っています。

かわもと暮らし『新規就農支援』

産業体験プログラム

島根県にUターンし、農業・林業・漁業・伝統工芸・介護分野の産業を体験する方に12万円／月（1年間）の体験者助成金を支給しています。更に中学生以下の子どもがいる家庭には1世帯あたり3万円／月が加算されます。



くらしまねっと『Uターンしまね産業体験』

起業支援



川本町商工会による創業・経営支援サイトでは、起業に関する補助金や空き店舗の情報のほか、先輩起業家のインタビュー記事等も掲載しています。

川本町商工会『つながる、かわもと。』

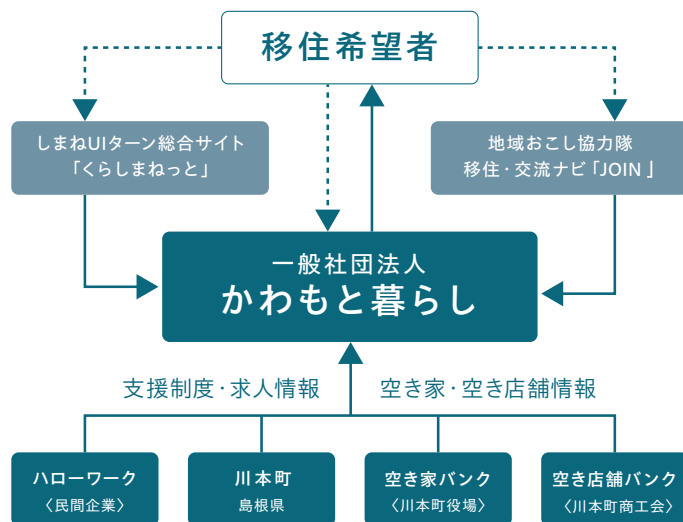
最新の求人情報、起業・就農に関する支援一覧



あらゆる相談にワンストップで対応する

移住総合相談窓口 かわもと暮らし

川本町では、移住・定住についての総合相談窓口「かわもと暮らし」を開設しており、専任のスタッフが、仕事・住まい・子育てなど、移住・定住にまつわるあらゆる相談にワンストップで対応しています。メール、電話、オンラインでの個別相談はもちろん、移住体験ツアーや空き家バンクの情報提供も行っています。



川本町移住体験プログラム

事前の相談内容を踏まえ、職場体験や空き家見学のほか、保育所や学校、商業施設、病院など「この町で生活する」ことを前提としたオーダーメイドな体験プログラムを個別に作成いたします。〈宿泊費無料〉



かわもと暮らし『移住体験プログラム』



私たちが全力でサポートします！



移住プランナー 浪崎 健一



私も2015年に静岡県から家族で移住してきました。移住先の生活に求めるものは、人それぞれですが、相談に来られる方の思いを大切に、住居や就業先、保育所や学校など移住後の生活も含めしっかりとサポートいたします。個々の事情にも柔軟に対応しますので、まずはお気軽にご相談ください。





(株)スエヒロ 森谷 太郎 さん

野球が盛んな川本町にあって、小学校の頃から野球三昧。岡山の高校、広島に大学に進学し、島根県の企業にUターン就職する。

釣りなどの趣味も増えたが、地元の先輩や後輩たちと野球をするのが今は何よりの楽しみ。目標は地元チームで国体に出場することで、川本町が軟式野球の会場となる2030年の島根国体開催が今から待ち遠しい。



邑智郡森林組合 小溝 一平 さん

前職は航空自衛官。転勤が多いことなどから転職を考えていたときに林業の奥深さに魅せられ移住を決意。産業体験プログラムを活用し、邑智郡森林組合にUターン就職する。

いきなり裏山付きの一軒家を購入すると念願の時ストープもゲット。集落営農や地域イベントに積極的に参加し、狩猟免許も取得して野生動物と格闘する日々。子ども4人と犬2匹の大家族。



OTO-LaVo 相原 由紀 さん

母親の出身地である川本町。自分の記憶にもある豊かな自然の中で子育てをしたいという理由から家族での移住を決めた、いわゆる孫ターン。

時間の融通の利くテレワークスペースに勤務しながら、イベントで手作りのアクセサリーを販売したり、読み聞かせのサークルに参加したりと遊ぶように暮らす毎日に大満足。定住促進住宅の新築戸建に住まう。

デイビット・セナン・ヌモンビイー さん

出身はスワジランド王国（現エスワティニ王国）というアフリカの一国。結婚を期に来日し、どこか故郷を思い出させる川本の風景が気に入り、家族でUターン移住する。

最初は日本語がうまく話せず苦労しましたが、産業体験プログラムを活用して就業先を得てから、現在は林業関係の仕事に従事している。力仕事はお手のもので、保育所の綱引き大会では大活躍。



先輩移住者に学ぶ

先輩移住者紹介

川本町は人口3,000人の小さな町ですが、これまでも多くの方々が様々なかたちで移住されています。SNSなどを通じて情報交換を行い、緩やかな繋がりの中でお互いに助け合いながら、それぞれの移住後の生活を楽しんでいます。

繁殖農家 岡田 繁樹 さん

帯広の大学を卒業後、1年間はフリーターをしながら外国を旅するなどし、晴れて川本にUターン。家業の畜産業を継ぐ。

繁殖農家として黒毛和牛の繁殖・飼育に従事して早6年。365日気の抜けない生き物相手の仕事はもちろん大変だが、だからこそそのやりがいも。同じ若い世代の同業者がいないのが目下の悩みではあるが、既にその付まいは貫禄さえ感じさせる。



紙布織山内 山内 ゆう さん

東京、京都で和裁・染織を学び、安来市の出雲織工房に入門。その後、川本町に移住し、地域おこし協力隊として活動。染織家として独立後は、木綿や石見地方に代表される石州和紙を用いた紙布織の制作を行っている。

町の人たちからの応援も受け、今後も川本を拠点として制作を続けていくように日々創作活動に励む。



やんちゃんの里 山口 瑞恵 さん

短大卒業後に英国での語学留学を経験。大阪で金融会社勤めしていたが、コロナ禍で在宅勤務となり将来のことを自問する中、家業のどぶろくづくりを継ぐため帰郷する。

自家栽培米を原料にしたどぶろく・甘酒の販売を行っていて、若い女性客にも喜んでもらおうとパッケージのデザインを一新。どぶろく特区の新たな担い手として奮闘中。



114 Films 木下 陽介 さん

東京に進学した後、一旦は名古屋で就職するも、結婚を機にカメラマンとしての活動をスタート。コロナ禍の中で家族でのUターンを決意する。

映像作品の受賞歴は豊富で、民間企業や大学、自治体など全国から制作依頼を受ける中、川本町民とつくる小さなメディア「かわもとTV」の運営も行い、地域に新たな話題を創出している。地元愛溢れる2児の父。

別冊 誰もが活躍できる町

島根県川本町 UI ターンパンフレット 2025



廃線後の駅舎・線路跡の利活用の観点から許可を得た上で線路内への立ち入り・撮影を行っています

移住後の支援制度

令和7年度

結婚・出産・子育て支援

保育料の全額無料

所得に関わらず保育料の全額が無料。

給食費の全額無料

保育所（完全給食）、小・中学校の給食費が全額無料。

子どもの医療費全額無料

高校卒業までの子どもの医療費、
20歳未満の特定16疾患群に係る入院費が全額無料。

結婚新生活応援事業

夫婦ともに39歳以下の新婚世帯の住居・引越し・リフォーム費用の一部を補助。（所得制限あり）
夫婦ともに29歳以下の世帯：上限60万円／それ以外の世帯：上限30万円。

不妊治療費〈一般〉・生殖補助医療費・不育症治療費助成

一般不妊治療費・生殖補助医療費・不育症治療費の一部を助成。（上限：30万円）

男性不妊検査費助成

保険適用外の検査費用の一部を助成。（上限：2.8万円）
※島根県へ申請し交付を受け2.8万円を上限に残額を町が助成

妊婦健診費助成

妊婦一般健康診査14回の受診票を交付。（県内：無料 県外：上限あり）

妊婦歯科健診費助成

妊婦歯科健診受診票を交付。（妊娠期間中1回無料）

風疹ワクチン・麻疹風疹ワクチン予防接種費助成

妊婦と同居の方、妊娠を希望される女性及び同居の方の予防接種の助成。（一部負担あり）

産婦健診費助成

産後2週間と1ヶ月の2回の健診費を助成。（上限：5千円／1回）

妊婦に対する遠方の分娩取扱施設への交通費及び宿泊費支援事業

ハイリスク妊婦等を対象に交通費及び宿泊費を助成。

産後ケア事業

助産師による授乳指導や心理的ケア。（産後4ヶ月未満、一部負担あり）

乳児一般健診費助成

生後1ヶ月・9～11ヶ月に受けていただく受診票を交付。（県内：無料／県外：上限あり）
※乳幼児健診として集団健診を開催（4～5ヶ月・1歳6ヶ月・2歳・3歳・5歳児）

新生児聴覚検査費助成

新生児聴覚スクリーニング検査の費用が無料。

歯科対策助成

3～4歳児のフッ素塗布費用が無料。5歳児～中学生のフッ素洗口費用が無料。



定期予防接種費助成

定期予防接種費が無料。（BCG／五種混合ほか）

インフルエンザ予防接種費助成

妊婦・高校生以下のインフルエンザ予防接種費用が無料。

川本町まげなフリーパス

町内在住の高校生以下を対象に町内の公共施設やスクールバス、温泉施設などの利用料が無料（一部割引）となるフリーパスポートを発行。

つながる絵本お届け事業

町内在住の1歳～小学3年生までの児童に絵本を贈呈。（1冊／年）

チャイルドシート購入費助成

1台につき購入価格の1/2を助成。（上限：1.5万円）

自転車ヘルメット購入助成

1個につき購入価格の1/2を助成。（上限：2千円）

検定料助成〈自らの学び応援事業〉

英語検定、漢字検定、算数・数学検定を受検する費用の全額を補助。（同一級同年度内1回）

遠距離通学費支給制度

小学生（通学距離：2km以上）・中学生（通学距離：6km以上）の定期券等を支給。
※バス通学で最寄りの停留所までの距離が2km以上の場合も対象

就学援助制度

経済的な理由で児童生徒の就学が困難な世帯に対して、学校関係経費を援助。

就学奨励費制度

障がいのある児童生徒の学校関係経費を家庭の経済状況等に応じて援助。

夢と可能性に挑戦する人財定住助成金事業

- ①高校・大学等卒業後就職し、川本町に居住した場合に定住助成金として最大50万円を交付。
 - ②奨学金を借入れ、大学等に進学し卒業後10年以内に就職、川本町に居住した場合に奨学金返済額範囲内で毎年助成金を交付。（上限：24万円／年 期間：最長10年）
- ※「くらしまねっと」に登録する企業が求める国家資格を有して就職した場合は6万円／年（最長10年）が上乗せされます



最新の支援制度一覧

住まいの支援

新築・中古住宅購入助成

新築住宅の建築費、中古住宅の購入費・改修費の一部を最大200万円まで助成。

① 新築住宅（最大200万円）

建築費の1/10（上限：100万円）
+ 土地購入及び解体撤去費の1/2（上限：50万円）
+ 加算額（定額：50万円）※加算条件あり

② 中古住宅（最大200万円）

購入費の1/20（上限：50万円）
+ 改修費の1/2（上限：100万円）
+ 加算額（定額：50万円）※加算条件あり

〈加算条件〉町内に本店、または支店を有する事業者が施工すること

〈交付対象〉

夫婦いずれかが45歳未満、または同居者に中学生以下の扶養する子どもがいる世帯



合併浄化槽設置費補助制度

① 単独浄化槽撤去費分 単独浄化槽撤去費用の一部を助成。（上限：9万円）

② 合併浄化槽設置費分 合併浄化槽設置に伴う費用の一部を助成。（1基）
（5人槽：58万円／7人槽：78.5万円／10人槽：112万円）

※単独浄化槽撤去費分・合併浄化槽設置費分の併用可、10人槽は2世帯住宅が対象です

太陽光発電等導入促進事業補助金

太陽光発電等の設置に伴う費用の一部を助成。

① 太陽光発電 最大4kwの設置（上限：26万円）

② 蓄電池 設置費の1/2（上限：10万円）



飲料水供給施設設置奨励金

簡易水道が供給できない地域で飲料用井戸の設置をする場合の費用の一部を助成。

① 1戸 対象経費の2/3（上限：100万円）

② 2戸以上 対象経費の2/3（上限：200万円）



起業・就農支援

起業支援制度（小売店等開業支援事業）

空き店舗等を活用した開業にかかる経費の一部を支援。費用の1/2（上限：200万円）

※地域の買い物不便対策・移動販売・宅配支援を行う場合は別途経費の支援があります

就業支援制度

目指す就業のスタイル（自営・兼業・雇用）にあわせた支援制度。

① 産業体験（農業・林業・漁業・伝統工芸・介護分野等）

12万円／月（期間：3～12ヶ月）

※親子連れ助成＋3万円／月（世帯毎、対象：中学生以下の子どもがいる世帯）

② 半農半X支援事業（就農前研修経費・定住定着助成）

12万円／月（期間：1年）

※夫婦共同経営の場合、それぞれが対象です

③ 新規就農者育成総合対策（経営開始型）

150万円／年（期間：3年）



その他の支援

しまね子育て応援パスポート『COCOLO』

子育て家庭を対象に全国の協賛店において商品の割引やポイントカードのポイントアップ、景品のプレゼント、子育て関連情報の提供などのサービスを受けることができます。



ふるさと島根定住財団『U・Iターン応援カード』



島根県外に在住している、または、移住後1年以内の方が発行対象の移住・定住応援カードです。移住前後の住まい探し、仕事探しから移住後の生活環境に慣れるまで島根県内の様々な場所でサービスを受けられます。

ふるさと島根定住財団『引越し割引サービス』

「しまね登録」へ基本情報の必須項目を入力された方は、県外から島根県内への引越しの際に引越し費用の割引サービスを受けることができます。



地域を変えていく新しい力

川本町地域おこし協力隊

地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化が著しい地方において、最長3年間（年度更新）の地域活動や起業準備を行ってもらうための総務省の制度です。地域外の人材による地域力の維持・強化を目的に、川本町ではこれまで延べ32名の協力隊員が様々な分野で活躍しています。

雇用型と委託・起業型、2つの受け入れ体制

川本町では、雇用型と委託・起業型の2つの受け入れ体制を設けています。雇用型は、所属先のスタッフとして地域課題解決に向けた活動を行い、委託・起業型は、個人事業主として町から委託された業務、起業に向けた準備・実践活動を行います。将来的に起業を考えているものの、具体的な内容が未定の場合などは、雇用型で活動しながらその準備を行い、年度毎の更新時に委託・起業型へ変更することも可能です。

※変更にはプレゼンテーション等の所定の手続きが必要となります

雇用型 ※所属先との雇用関係あり

基本報酬：230,000～266,000円/月

健康保険・雇用保険・労災保険・厚生年金

勤務時間：124時間程度/月（16日程度/月）

委託・起業型 ※雇用関係なし

基本報酬：266,000円/月

国民健康保険・国民年金

活動時間：124時間程度/月

年間最大100万円の活動支援補助金

「川本町地域おこし協力隊活動支援補助金」は、地域おこし協力隊員の活動に要する経費に對し交付される補助金制度です。基本報酬とは別に、最大100万円の補助を受けることができます。主な用途として、家賃や活動に必要な機材の購入費、研修費などに当てることができます。

また、任期後に町内で独立・起業する隊員は、開業に要する経費の一部として、別途100万円の「起業支援金」を受け取ることができます。

川本町地域おこし協力隊募集一覧



2025年度 隊員紹介



川本町観光協会スタッフ
徳永 憲仁 さん

活動場所：（一社）かわもと暮らし／川本町観光協会
広島県出身（前職：介護職員）



川本町観光協会スタッフ
杉村 真美 さん

活動場所：（一社）かわもと暮らし／イズモコバイモ群生地
京都府出身（前職：六甲高山植物園学芸員）



島根フィルティーズ球団マネージャー
菅原 麻子 さん

活動場所：（一社）かわもと暮らし／島根フィルティーズ
宮城県出身（前職：女子プロボクサー）



あそラボスタッフ
開本 恭代 さん

活動場所：あそラボ
愛媛県出身（島根県立大学卒業）

UI-TURN 誰もが活躍できる町

島根県川本町移住パンフレット 2024-2025

